

## 「インターネット情報局」に参画して電子絵本協同編集の輪を広げる研究

### 一 特別天然記念物オオサンショウウオの電子絵本作成による保護啓発活動を通して 一

岡山大学教育学部附属中学校 藤本 義博

URL : <http://www.fuzoku.okayama-u.ac.jp/ml/Welcome.html>

キーワード 中学校、総合的な学習の時間、インターネット、ネットミーティング、電子絵本、協同編集、交流、協同学習、絵本、異年齢、異校種、異地域、環境、特別天然記念物、絶滅危惧種、貢献・寄与

#### 1. 企画のねらい

国の特別天然記念物オオサンショウウオは、この40年ほどで急激に減少し平成7年には環境庁より絶滅危惧種に指定された。そこで本校では、平成11年より2年間にわたりEスクエアプロジェクトの研究助成を受けて、保護啓発のための教材開発を行う学習で、研究者、生息地内の住民の方への取材や小学生との環境交流学習の際にはインターネットやテレビ電話などを、教材開発の際にはビデオカメラやデジタルカメラ、コンピュータデジタル編集機等の機器を必要に応じて効果的に利用できる情報活用能力を育てた。さらにインターネットによるネットミーティングを利用して小学生とWeb上の電子絵本協同編集会議室の構築と運用方法も開発することができ、そこで協同製作したオオサンショウウオを保護啓発するための電子絵本を近くの幼稚園児に読み聞かせたり、Webページで保護啓発活動を展開してきた。しかし、幼稚園訪問には時間的、物理的制約があり、Webページでは交流校からの反響がある程度で、保護啓発の拡充に課題が残った。

#### 2. 実践内容

##### (1) 指導の考え方

電子絵本編集会議室の目的は、オオサンショウウオ保護啓発にあるが、その目的を達成する過程で、オオサンショウウオの生態や生活環境の文献および実態調査の方法を身につけさせたり、小学生と協同で絵本の制作、編集を行う中で絵本の評価を得ながらよりよいものを創造する能力態度を育成する。この絵本の制作・編集の際にはインターネットのネット・ミーティングを活用しながら進めたい。さらに、制作のようすや完成した作品をインターネットで随時送ったり現地収録を行っていただき、中学生向け教育番組「インターネット情報局」で放映することで保護の心をさらに広げていく努力と社会貢献の体験を積み重ねることで、生徒の問題解決能力、創造しようとする態度を身につけさせ、よりよく生きる生き方に気づかせたい。

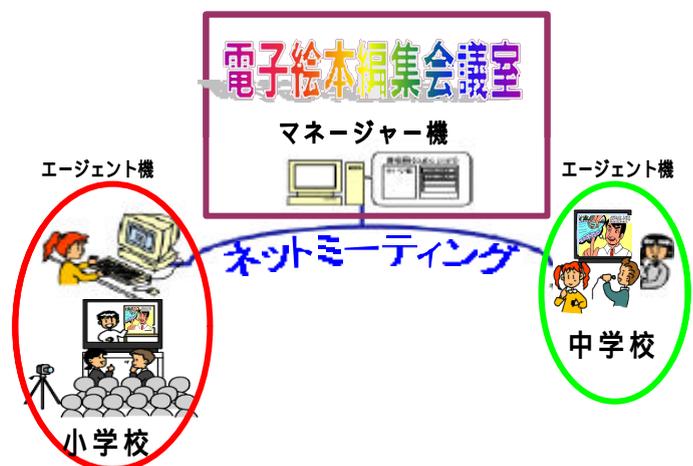


図1 電子絵本協同編集会議室

##### (2) 指導計画

- 第1次「オオサンショウウオをもっと深く知ろう」(2時間)
- 第2次「絵本制作の計画をたてよう」(2時間)
- 第3次「保護啓発のための資料を集めよう」(4時間)
- 第4次「交流学習を進めながら絵本を作ろう」(12時間)-----本校で番組の取材
- 第5次「完成した絵本を送ろう、ホームページで保護をよびかけよう」(2時間)

#### 3 実践結果

計画の第4次「交流学習を進めながら絵本を作ろう」では、NHKの番組スタッフや出演者、川についての環境学習を行っている学校などとインターネットの電子メールで交流学習を行いながら、インターネット上に設置した仮想の編集会議室を活用して、電子絵本を制作しながら、保護の心を広げていった。「インターネット情報局」には、生徒一人一人が作成した絵本のキャラクターをメールで送り交流を図った。



図2 番組放送のようす(10月2日)

##### (1) 番組で紹介された内容

「情報局に、かわいいオオサンショウウオのイラストがたくさん届きました。オオサンショウウオは、岡山県に生息する国の特別天然記念物。今では、日本と中

国のごく一部にしか生息しない貴重な生き物なんですが、河川の開発などで急速に数が減っているのです。イラストは、オオサンショウウオを保護するためにかかれたものでした。そこで、番組では、作品を送ってくれた生徒のみなさんを訪ねることにしました。」(図2は、番組放送のようす)

#### (2) 生徒の自己評価

平成13年度のプロジェクトをおえて、プロジェクトの計画、行動、交流、表現、自分の個性を見いだしてプロジェクトに活かす(生きる)の6つの観点において、大変よくできた5点、できた4点、どちらともいえない3点、あまりできなかった2点、まったくできなかった1点で自己評価をした結果を図3に示した。プロジェクトの計画や交流活動、自分の得意なところや長所をプロジェクトに生かして自分を見つめ直した(よりよく生きる)点で大変よくできたと評価していた。(図3の数値は2項目の合計)

#### 4. 成果と課題

生徒は、「このプロジェクトで、オオサンショウウオのことがわかってさらに好きになりました。『オオサンショウウオがいなくならないようにこれからもがんばっていこう!』と思いました。」と絵本作りを通して保護意識が高まった。また、インターネットを利用した絵本作りのための協同編集のシステムを手軽に構築できるようになったことは、環境整備の面で大きな成果であった。さらに、保護の心を広めるためにWEBページだけでなく、テレビ番組の協力を得られたことも大きい。しかし、ネットミーティングを利用した編集会議は1対1対応でしかないので、複数でライブに編集会議ができるシステムを開発していきたい。

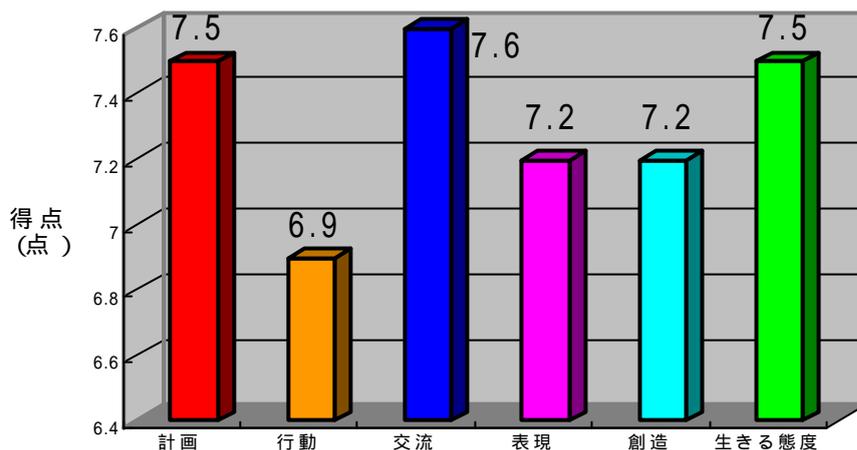


図3 自己評価の観点